

展覧会「まだまだざわつく日本美術」開幕しました！

心がざわつく！「見る」を愉しむ展覧会

2025年7月2日（水）～8月24日（日）／サントリー美術館（東京・六本木）

サントリー美術館にて「まだまだざわつく日本美術」〔会期：2025年7月2日(水)～8月24日(日)〕が開催中です。会場の様子、カフェキャンペーン、オリジナルグッズなど最新の情報をお知らせします。



心ざわつく、見たくなる。感じて、読んで、触れて、気づく、「見る」を愉しむ展覧会！

まだまだざわつく日本美術 2025年7月2日(水)～8月24日(日)
サントリー美術館 More and More: Unsettling Japanese Art
Suntory Museum of Art

左上から：美人図（部分） 表山陽庵 一編 江戸時代【展示期間7/2～7/28】 図法障子（部分） 一編 江戸時代 17～18世紀【展示期間】 武蔵野祭屏風（部分） 六曲一屏のうち 江戸時代 17世紀【展示期間（国指定あり）】 蓮華図（部分） 伊藤若冲 一編（障子） 江戸時代 18世紀【展示期間7/2～7/28】 志ん太のうしろ（部分） 藤田 一教 明治時代 19世紀【展示期間7/30～8/24】 障子（障子） 江戸時代 17世紀【展示期間7/2～7/28】 菊之巻（部分） 一編 江戸時代 17～18世紀【展示期間7/2～7/28】 ※全てサントリー美術館蔵

本展の見どころ

▶ 美術館業界の常識を破る！？画期的な展示方法

作品の周りが解説キャプションで埋め尽くされている！？屏風が不思議な形に折り曲げられている！？など、一般的な展覧会では見られない方法で作品を展示しています。これらは作品を「よく見る」ための工夫です。「えっ？」という驚きの後、作品の魅力にぐっと近づく展示になっています。

▶ 「触れる」「作品の一部になる（フォトスポット）」など体験型のコーナー

ミニ屏風を自分で折ってみたり、津軽こぎん刺しの単位模様（モドコ）の模型に触れてみたり、また、重要文化財《日吉山王祇園祭礼図屏風》の中の登場人物になれるフォトスポットなど、参加型・体験型のコーナーをお楽しみいただけます。お子さま連れや美術館ビギナーの方はもちろん、美術通の方も「おっ！」と楽しんでいただける工夫がもりだくさんです。

▶ 4年ぶり、待望の第2弾 学芸員×教育普及担当が再びタッグ

本展は2021年に開催した展覧会「ざわつく日本美術」の第2弾です。第1弾では「今までにない視点でとても面白かった」「こういうのが見たかった！」「美術鑑賞の面白さを知ることができた」など、大きな反響をいただきました。今回も2021年から引き続き、学芸員と教育普及担当がタッグを組み、前回ご紹介しきれなかった新たな展示方法や切り口で、サントリー美術館の所蔵作品をご紹介します。



プロローグ 展示風景
袋法師絵巻（部分）一巻
江戸時代 17～18世紀【通期展示】



第1章 ギョウギョウする 展示風景



第2章 おりおりする 展示風景



第3章 らぶらぶする 展示風景



第4章 ぱたぱたする 展示風景
紫陽花螺鈿絵重箱 一合 江戸時代 17世紀
【展示期間：7/2～7/28】



第5章 ちくちくする 展示風景
手前：東ごころ 着物 一領 江戸～明治時代
19世紀【展示期間：7/2～7/28】



第6章 しゅうしゅうする 展示風景
髪飾用具並びに文献類 709件のうち 江戸～大正時代
17～20世紀【通期展示】



エピローグ 展示風景
手前：朱漆塗矢筈札組糸素懸威具足
一具 桃山時代 16～17世紀
【通期展示】

隠れ法師を探そう！

展示室内の造作の数カ所に、
《袋法師絵巻》の法師が隠れています。
ぜひ探してみてください！



会期中の注目イベント

8月10日（日）「みんなで楽しむ！サン美まるごとアートフェス 2025」



この夏、子どもから大人まで、サントリー美術館でジャンルを超えて楽しめる、新しい「アートフェスティバル」が始まります！
展覧会の鑑賞に加えて、幅広くアートに親しむプログラムを開催（一部予約制）。ご家族で、お友達と、ひとりでも、みんなで楽しむ特別な1日をお届けします。 <http://suntory.jp/artfest2025/>

オリジナルグッズ新登場！

「まだまだざわつく日本美術」で展示中の当館所蔵作品をモチーフとしたオリジナルグッズが新登場！



木米《紫霞風炉》モチーフのオリジナルトートバッグ。
美術通の心をくすぐる!?作品の一部を拡大した両面プリントに、
作品全体がわかるミニチュアアクリルチャーム付きです。
オリジナルトートバッグ 3,800円（税込）



尾形乾山《錆絵染付松樹文茶碗》のマスキングテープ。
展示と同様、図様の美しい繋がりや細部の装飾がよく
わかるデザインになっています。
オリジナルマスキングテープ 550円（税込）

カフェ 展覧会オリジナルメニュー

全国でここ에서만食べられない「まだまだざわつく日本美術」限定のオリジナルメニュー。

夏にピッタリ！ひんやりなめらかな豆乳花と爽やかな生姜シロップ、5種のトッピングをお楽しみください。



彩り豆乳花 〜しょうがシロップ掛け〜 1,900円（税込）
販売期間：2025年7月1日（火）～8月24日（日）



キャンペーン実施中！
「彩り豆乳花」と
特製アクリルスタンドを
一緒に撮影してSNSに
投稿して下さった方に
お土産プレゼント！

「まだまだざわつく日本美術」開催概要

会期 2025年7月2日（水）～8月24日（日）※作品保護のため、会期中展示替を行います

会場 サントリー美術館 東京都港区赤坂9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア3階

開館時間 10時～18時

※金曜日および8月9日（土）、10（日）、23（土）は20時まで開館 ※いずれも入館は閉館の30分前まで

休館日 火曜日（8月19日は18時まで開館）

入館料 一般1,700円、大学生1,200円、高校生1,000円、中学生以下無料

お問い合わせ 03-3479-8600 <https://www.suntory.co.jp/sma/>

読者・視聴者プレゼント用無料招待券（2組4名枚まで）提供可能です。ぜひご掲載をご検討ください。

《報道関係者お問い合わせ先》

「まだまだざわつく日本美術」広報事務局（株式会社TMオフィス内）

担当：馬場・永井・西坂 TEL：090-6065-0063（馬場）090-5667-3041（永井）

テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 E-MAIL：zawabi@tm-office.co.jp